



ゆたかっ子

令和2年度
 学校だより 9月号 ⑬
 豊見城市立ゆたか小学校
 豊見城市字豊見城 601 番地 1
 TEL850-663 FAX850-3940
 校長 宮平 やすみ

コロナにも負けず、台風にも負けず・・・

どんなに気をつけていても、いつだれが感染するかわからないのが感染症の怖さです。でも、初めのころによく言われた「正しくおそれる」の考え方は今も変わりません。コロナは細菌ではないので、自然に増えたり広がったりすることはありません。人やものに付着して、接触することで広がるのがほとんどです。だからこそ、その感染経路を断つために、手洗いや手指消毒が大切です。そして、飛沫感染を防ぐために、マスクやソーシャルディスタンスが必要なのです。基本的な予防対策の意味をもう一度確認し、ゆたかっ子みんなで、コロナの感染拡大を防ぎましょう。



台風にも負けず、池のそばには彼岸花が咲いています(別名:ハミズハナミズ)

今回は、感染の疑いがある時点で、早めに連絡があり早めに出席停止の措置をとることができました。そして、濃厚接触者とされた児童はすべて陰性という結果でした。これも、日ごろから、子ども達が学校で基本的な感染予防対策をしてきた結果だと思えます。子ども達、各家庭、教職員すべての皆様の努力に感謝します。

今回のことから、学校として、さらに具体的な感染対策の追加や予防意識の徹底を図っていきます。ちなみに、現在、自宅待機をしている児童と担任がオンラインでつながることができるか試しているところです。うまくつながることができれば、今後の教育活動に生かせるのではないかと期待しています。「災い転じて福となす」—そうです！ゆたかっ子の七つの心得にもある「失敗は成長のチャンス」。転んでも起き上がって前進すれば、すべてが成功の道への一歩です。毎日、ゆたかっ子が元気に笑顔で登校できるゆたか小学校をいっしょに創っていきましょう。

ご協力ありがとうございました

ドライブスルー方式でPCR検査。市の健康推進課の応援でスムーズに実施できました。



学校と家でオンライン挑戦中！
 できるようになったら、みんなに教えてほしいな！



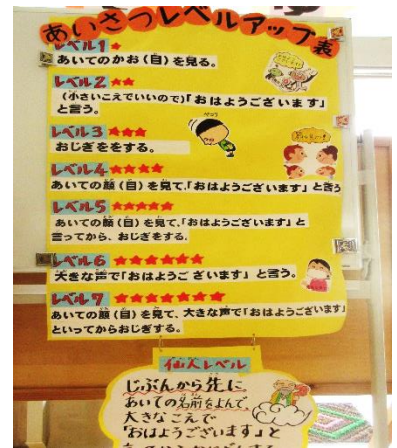
密にならない新しい休み時間

密をさけて、休み時間の遊び場を学年・学級で分散。遊び場も遊び方もふえました。まだまだ進行中！

夏休みの宿題「めざせ！あいさつ名人！」

夏休みに入る前、一学期前半の校長講話の中で、ゆたか小学校全員に宿題を出しました。それは、「千里の道も一歩から」の一歩は「あいさつ」というお話です。夏休みにも、あいさつをする機会はたくさんあると思うので、「あいさつが上手になってきてね！」と呼びかけました。あいさつは社会への入り口です。

一学期後半スタート時には、生活委員会が動画を使ってあいさつのお手本を紹介しました。そして今…素直なゆたかっ子たちは、笑顔で気持ちのいいあいさつができる子がいっぱいいます。確実にあいさつ上手な子が増えていますよ。「あいさつが活発な地域や学校は犯罪が少ない。あいさつが防犯になる」という話を聞いたことがあります。「みんながちゃんとつながっているよ！」という発信が犯罪抑止力のひとつなのかもしれませんね。



クラブ活動 スタート！

延期していたクラブ活動を開始しました。今年度は、外部講師を控え（エイサー指導のみ依頼）、各クラブの活動内容や場所、人数等の感染対策をした上でのスタートです。回数は少ないですが、1回の活動時間を45分⇒60分にして、子ども達にとって有意義な時間にしたいと考えています。

